

## 経営理念

練馬区社会福祉事業団は、人権尊重を理念とし、地域で最も信頼され、喜ばれるサービスの提供を、効率的でバランスのとれた経営を持って行い、区民福祉の向上を図ります。

発行 富士見台デイサービスセンター

# 緊急事態宣言下でのコロナ予防

## ～富士見台デイはこういった取り組みをしています～

緊急事態宣言が3月7日まで延長されることになりました。緊急事態宣言が解除されたとしてもwith コロナの生活が続くこととなります。富士見台デイとしても、引き続き感染予防を徹底し、安心してご利用いただける環境整備をしていきます。

1月中旬に職員がPCR検査の結果陽性となりましたが、皆様がマスクを着用していたこと、また、職員がマスクとゴーグルを着用するなど感染予防対策を徹底していたことで、保健所は濃厚接触者なしと判断し、通常営業を継続することができました。そして、1月中旬以降陽性者の発生なく現在に至っております。

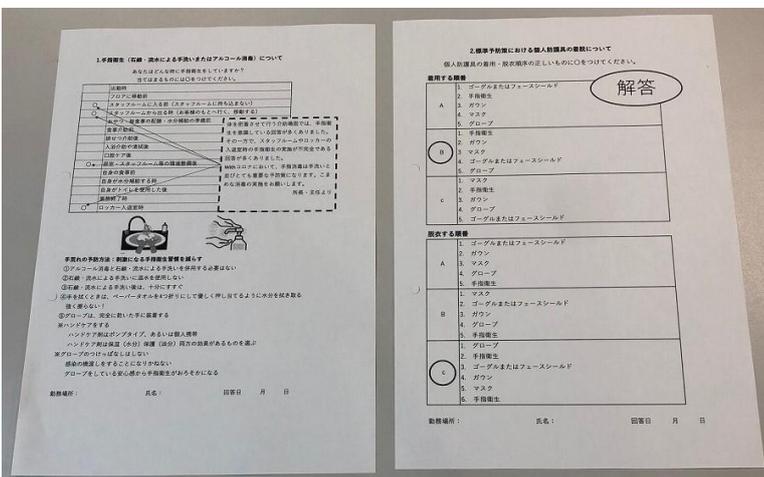


ふじみみ3月号では、職員の感染予防の取り組みについて2事例ご紹介することにしました。

まず、練馬区が示す濃厚接触者の定義は、「(マスクなどの)必要な感染予防策なしで15分以上の接触があった者」と定められています。そこで、食事介助などの介護業務を行う際は、マスクとゴーグル着用に加え、使い捨てエプロンと使い捨てグローブも使用するようになりました。座る位置も正面ではなく、横に座って飛沫防止に努めています。(左写真)

次に、手洗いとアルコール消毒が感染予防策の基本となり、定期的に手指衛生チェックを行っています。また、手指衛生を徹底することで、手が荒れてしまうこともあるため手荒れの予防についても確認しています。

食事や排せつなどの介護業務において、エプロンやグローブを使用しています。正しく着脱することも感染予防に繋がるため、問題形式で着脱手順の確認をしました。



『手指衛生チェック』と『個人防護服の着脱について』

# シトラスリボンプロジェクト

## 富士見台デイはシトラスリボンプロジェクトに賛同します

シトラスリボンプロジェクトとは、コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛の有志がつくったプロジェクトです。愛媛特産の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めています。リボンやロゴで表現する3つの輪は、地域と家庭と職場（もしくは学校）です。

「ただいま」「おかえり」と言いあえるまちなら、安心して検査を受けることができ、ひいては感染拡大を防ぐことにつながります。また、感染者への差別や偏見が広がることで生まれる弊害も防ぐことができます。感染者が「出た」「出ない」ということ自体よりも、感染が確認された“その後”に的確な対応ができるかどうかで、その地域のイメージが左右されると、考えます。

コロナ禍のなかに居ても居なくても、みんなが心から暮らしやすいまちを今こそ。コロナ禍の“その後”も見すえ、暮らしやすい社会をめざしませんか？



## 鬼は外おお、

## 福は内いい

### 今年の節分は、鬼も外出自粛のようです。

令和3年の節分は、124年ぶりに2月2日でした。例年だと赤鬼や青鬼がテイルームに現れ大暴れするのですが、今年はコロナ禍で緊急事態宣言中ということもあり、現れませんでした。しかし、福は呼び込みたいため、職員手作りによる鬼に向かって、大きな声は出さずに節分の豆まきをしました。



静かに鬼は外～、福は内～

## 2月の活動“ペーパークイリング”

緊急事態宣言発令中ですが、感染予防対策をとってペーパークイリングの活動をしました。今回のテーマは『丑』でした。マスク越しではありますが楽しまれていることがよくわかりました。次回もお楽しみに！！



富士見台デイサービスセンターでは、毎月の活動の様子や機能訓練の情報をホームページのブログでもお知らせをしています。

富士見台デイ

検索 